

2014年3月期 第2四半期決算

説明資料

株式会社 **トクヤマ**

2013年10月31日



CONTENTS

- 1 2014年3月期 第2四半期決算
- 2 2014年3月期 業績予想
- 3 マレーシア計画
- 4 トピックス
- 5 補足資料

1 2014年3月期 第2四半期決算

1. 決算概要
2. セグメント別売上高／営業利益
3. 全社支出削減の進捗
4. 営業利益増減分析

① 2014年3月期 第2四半期決算

1. 決算概要

連 結 (前年同期比)

(億円未満切捨て)
(億円)

	2013年 3月期 第2四半期 累計	2014年 3月期 第2四半期 累計	増 減	
			金額	%
売上高	1,259	1,350	+90	+7
営業利益	7	78	+70	+885
経常損益	△19	60	+80	-
四半期純損益	△25	45	+70	-
1株当たり四半期純損益(円)	△7.30	12.99		
為替(円/\$)	79	99		
国産ナフサ価格 (円/kg)	55,200	64,700		

定性情報(前年同期比)

(売上高) 1,350億円(7%増)

増収要因 : プラントトラブル解消による塩ビモノマーの販売数量増
石油化学製品等の価格是正

減収要因 : 多結晶シリコンの販売数量減

(営業利益) 78億円(885%増)

増益要因 : 全社を挙げての費用削減

減益要因 : 国産ナフサ価格の上昇

① 2014年3月期 第2四半期決算

1. 決算概要

連 結 (前年同期比)

(億円)

	2013年 3月期 第2四半期 累計	2014年 3月期 第2四半期 累計	増 減	
			金額	%
売上高	1,259	1,350	+90	+7
営業利益	7	78	+70	+885
経常損益	△19	60	+80	-
四半期純損益	△25	45	+70	-
1株当たり四半期純損益(円)	△7.30	12.99		
為替(円/\$)	79	99		
国産ナフサ価格 (円/kg)	55,200	64,700		

定性情報(前年同期比)

(経常利益) 60億円(黒字転換)

増益要因 : 為替差損から為替差益へ転換

減益要因 : 休止部門費の増加

(四半期純利益) 45億円(黒字転換)

増益要因 : 前年同期に計上した株式会社エクセルシャノンの事業再構築引当金の繰入が
当期は発生しなかったことによる特別損益の改善

減益要因 : 税金費用の増加

1. 決算概要

連 結 (前 期 末 比)

(億円)

	2013年 3月末	2013年 9月末	増 減
総資産	5,182	5,280	+97
自己資本	2,175	2,227	+51
自己資本比率	42.0%	42.2%	+0.2ポイント
有利子負債	1,877	2,116	+239
D/Eレシオ	0.86	0.95	+0.09
1株当たり純資産(円)	625.29	640.20	

定性情報(前期末比)

(総資産)

増加項目: マレーシアでの多結晶シリコン製造設備建設による有形固定資産の増加

減少項目: 上記建設資金への充当による預金の減少

(自己資本)

増加項目: 当期純利益の計上による利益剰余金の増加、円安による為替換算調整勘定の改善

(有利子負債)

増加項目: マレーシアでの建設資金用に締結したコミットメントライン契約に基づく短期借入金の増加

① 2014年3月期 第2四半期決算

2. セグメント別売上高／営業利益 (前年同期比)

(億円)

	2013年3月期 第2四半期 連結累計期間		2014年3月期 第2四半期 連結累計期間		増減			
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	%	営業利益	%
化成品	385	0	415	7	+30	+8	+7	+1339
特殊品	253	△9	234	15	△19	△8	+25	-
セメント	341	22	364	27	+23	+7	+5	+24
ライフアメニティー	245	12	271	20	+26	+11	+8	+70
その他	197	12	232	21	+34	+18	+8	+67
計	1,422	38	1,518	93	+95	+7	+55	+145
セグメント間消去・ 全社費用	△162	△30	△168	△15	△5	-	+14	-
連結決算	1,259	7	1,350	78	+90	+7	+70	+885

(注1) 各事業セグメントの売上高・営業利益にはセグメント間取引を含む

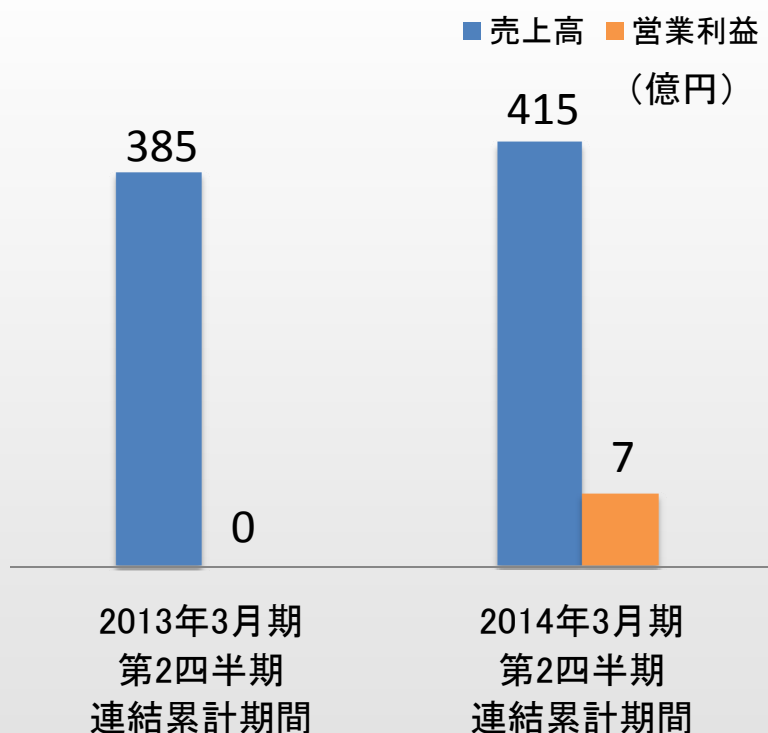
(注2) 2014年3月期より、機能部材セグメントは、ライフアメニティーセグメントに名称変更している

(注3) 2014年3月期第1四半期より、各セグメントへの費用負担の方法を変更している。なお、2013年3月期第2四半期連結累計期間においても、変更後の数値としている

2. セグメント別売上高／営業利益 （前年同期比）

化成品

増収増益



定性情報

（塩ビモノマー）

- ・前年同期に発生した塩ビモノマープラントのトラブル解消による販売数量の回復
- ・円安による輸出価格の上昇

（苛性ソーダ）

- ・上記塩ビモノマープラントトラブル解消に伴う電解プラント稼働率改善による国内販売数量の回復

（塩ビ樹脂）

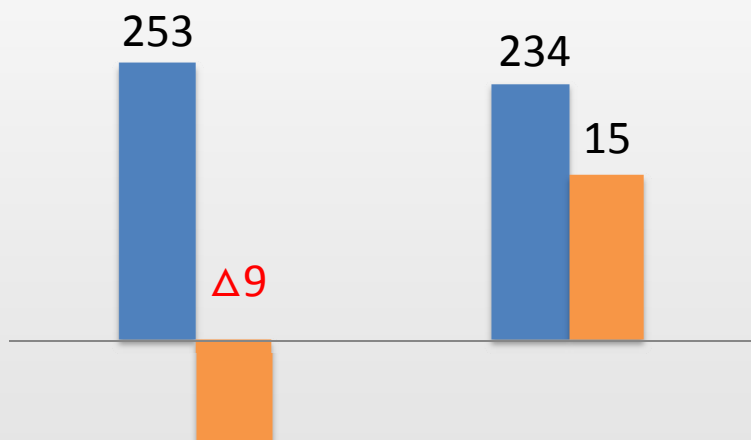
- ・販売価格の是正
- ・国産ナフサ価格上昇に伴う原料コストの増加

2. セグメント別売上高／営業利益 （前年同期比）

特殊品

減収増益

■ 売上高 ■ 営業利益
(億円)



2013年3月期
第2四半期
連結累計期間

2014年3月期
第2四半期
連結累計期間

定性情報

（多結晶シリコン）

- ・半導体向けは、サプライチェーンにおける在庫調整等により販売数量減
- ・太陽電池向けは、供給過剰による市況低迷が続く中、利益重視の販売戦略により販売数量減
- ・販売構成差及び円安による平均販売価格の改善

（乾式シリカ）

- ・販売価格の是正
- ・円安による輸出価格の上昇

（窒化アルミニウム、電子工業用高純度薬品）

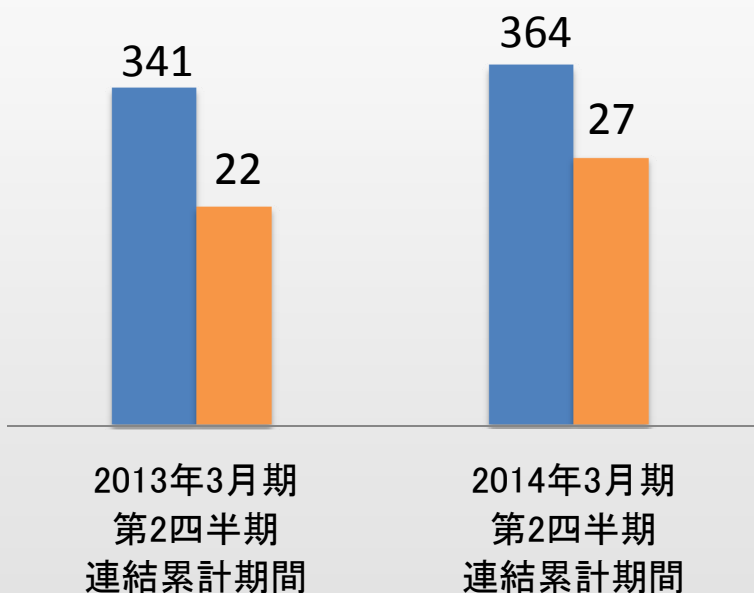
- ・半導体市場の回復に伴う販売数量増

2. セグメント別売上高／営業利益 （前年同期比）

セメント

増収増益

■ 売上高 ■ 営業利益
（億円）



定性情報

（セメント）

- ・国内需要の回復に伴い、販売は堅調に推移
- ・円安による輸出価格の上昇

（資源環境事業）

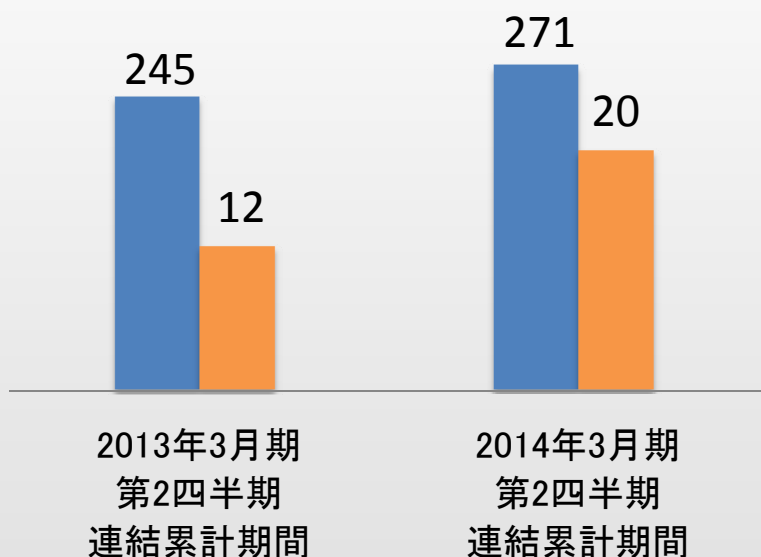
- ・セメント生産量増加に伴う廃棄物受入量の増加

2. セグメント別売上高／営業利益 （前年同期比）

ライフアメニティー

増収増益

■ 売上高 ■ 営業利益
（億円）



定性情報

（プラスチックレンズ関連材料）

- ・2011年に発生したタイ洪水によるサプライチェーンへのダメージ解消により販売数量増

（ポリオレフィンフィルム）

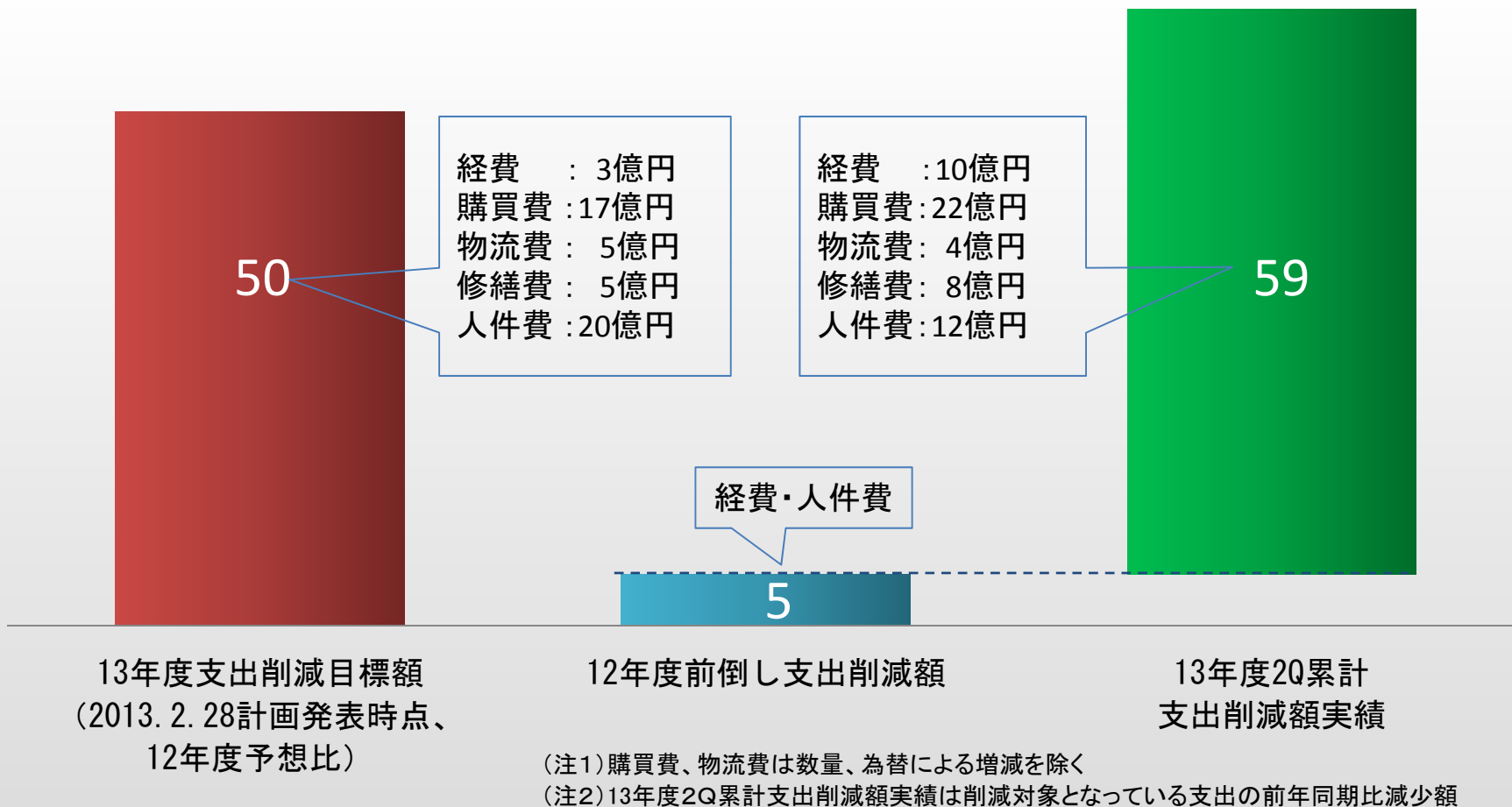
- ・販売価格の是正
- ・製品拡販による販売数量増

（樹脂サッシ）

- ・住宅着工件数回復に伴う販売数量増
- ・事業再構築による損益改善

3. 全社支出削減の進捗

12～13年度の全社支出削減額(億円)



4. 営業利益増減分析

(前年同期比) (億円)

セグメント別

多結晶シリコン販売数量減(-)
 価格是正・円安・販売構成差による
 平均販売価格改善(+)
 設備減損による償却費減(+)
 休止部門費(営業外)振替(+)
 全社の費用削減(+)

VCMプラントトラブル解消(+)
 石化製品の販売価格是正(+)
 国産ナフサ等原料価格の上昇(-)
 全社の費用削減(+)

全社の費用削減(+)

全社の費用削減(+)
 その他要因(+)

+5

+8

+23

78

7

+7

+25

全社の費用削減(+)

樹脂サッシ、ポリオレフィンフィルム等販売数量増(+)
 樹脂サッシ事業再構築(+)
 全社の費用削減(+)

13年3月期
 第2四半期
 連結累計期間

化成品

特殊品

セメント

ライフ
 アメニティー

その他・
 全社費用

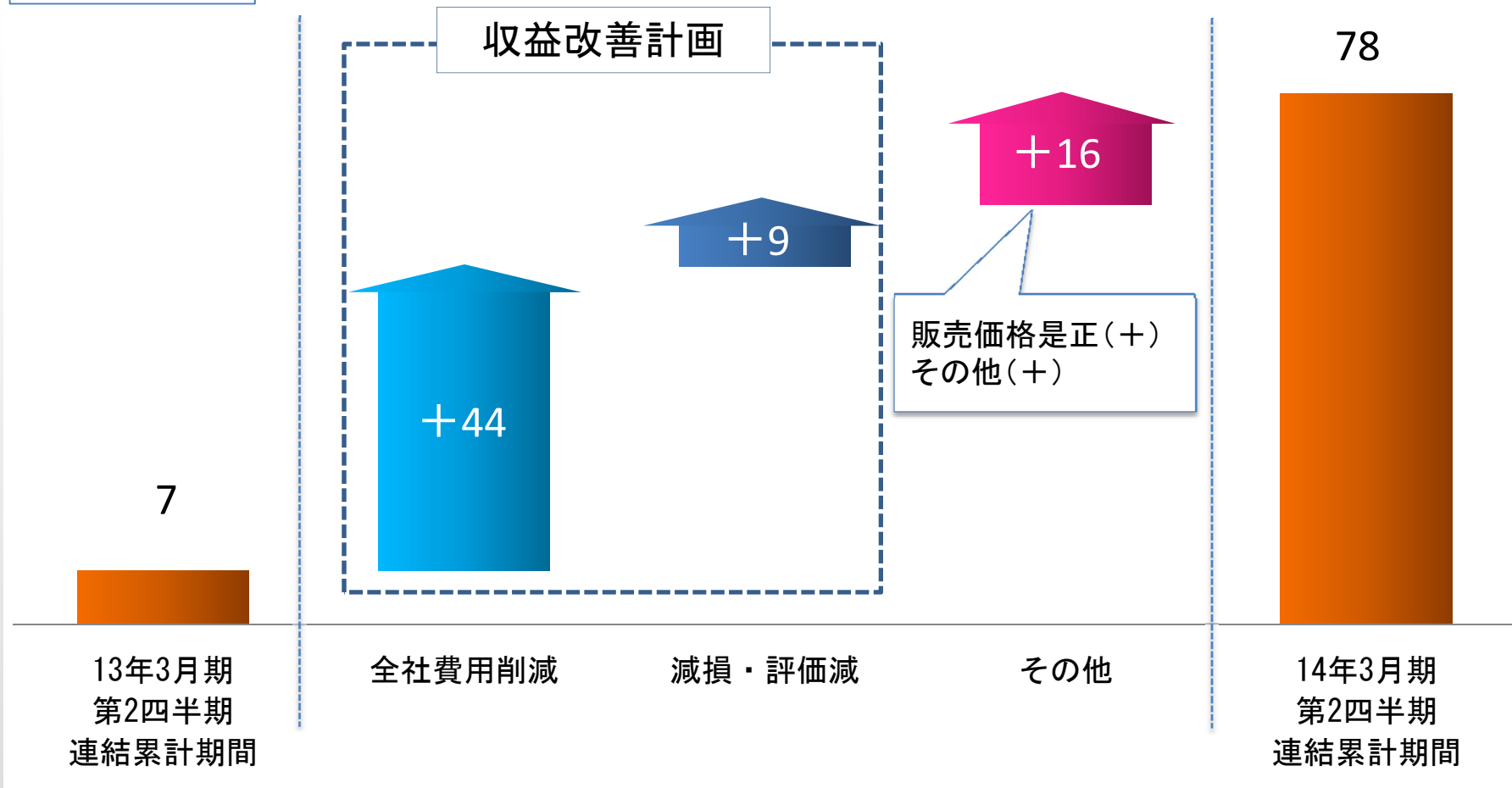
14年3月期
 第2四半期
 連結累計期間

4. 営業利益増減分析

(前年同期比)

(億円)

要因別



(注1) 全社費用削減及び減損・評価減の金額は、在庫影響等を除いた営業利益への影響額

2 2014年3月期 業績予想

1. 今後の事業環境と対策
2. 業績予想
3. セグメント別業績予想



1. 今後の事業環境と対策

化成品

- ◆苛性ソーダの内需低迷、国産ナフサ価格の高止まりが見込まれる
 - ・販売価格是正により収益力の回復に取り組む

特殊品

- ◆半導体・太陽電池市場ともに底打ちの動きは見られるものの先行き不透明な事業環境が続く
 - ・マレーシアプラントにて生産を開始し、多結晶シリコンの最適供給体制を確立し収益改善を急ぐ

セメント

- ◆内需は民需・官需とも堅調で年間4,700万トン程度を見込む
 - ・製造、物流、販売コストの徹底した削減の継続と販売価格是正により利益確保に努める

ライフアメニティー

- ◆国内景気に回復の兆しが見られ、新興国では消費財市場の更なる拡大が見込まれる
 - ・ユーザーのニーズに合わせた製品開発、供給体制の確立により収益拡大を図る

全社

- ・支出削減を始めとする収益改善計画の着実な実行
- ・1年毎に施策の修正を行うローリング3ヵ年計画により、事業環境の変化に迅速に対応

② 2014年3月期 業績予想

2. 業績予想

連結（前期比）

4/30公表値より修正なし

（億円）

	2013年3月期 実績	2014年3月期 第2四半期 連結累計期間実績	2014年3月期 予想(4/30公表)	増減	
				金額	%
売上高	2,586	1,350	2,755	+168	+7
営業利益	67	78	140	+72	+107
経常利益	32	60	100	+67	+209
当期純損益	△379	45	75	+454	-
1株当たり純損益 (円)	△108.98	12.99	21.56	2014年3月期 下期予想	
為替(円/\$)	83	99	95	95	
国産ナフサ価格 (円/kg)	57,500	64,700	60,500	66,900	

② 2014年3月期 業績予想

3. セグメント別業績予想 (前期比)

(億円)

	2013年3月期 通期実績		2014年3月期				増減	
			第2四半期 連結累計期間 実績		通期予想 (4/30公表)			
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
化成品	773	4	415	7	830	35	+56	+30
特殊品	528	3	234	15	495	25	△33	+21
セメント	699	53	364	27	725	45	+25	△8
ライフアメニティー	510	29	271	20	585	45	+74	+15
その他	401	26	232	21	475	35	+73	+8
計	2,913	116	1,518	93	3,110	185	+196	+68
セグメント間 消去・全社費用	△326	△49	△168	△15	△355	△45	△28	+4
連結決算	2,586	67	1,350	78	2,755	140	+168	+72

(注1) 各事業セグメントの売上高・営業利益にはセグメント間取引を含む

(注2) 2014年3月期より、機能部材セグメントは、ライフアメニティーセグメントに名称変更している

(注3) 2014年3月期より、各セグメントへの費用負担の方法を変更している。なお、2013年3月期においても、変更後の数値としている

3 マレーシア計画

1. 進捗と今後のスケジュール
2. 多結晶シリコン市場動向
3. 多結晶シリコン供給能力とコスト競争力
4. 中国の多結晶シリコン市況と現地メーカー動向



1. 進捗と今後のスケジュール

トクヤママレーシアPS-1(第1期)

- ・2013年11月より生産開始予定。
- ・半導体向けグレード出荷に向けて、社内認定作業を開始。



1. 進捗と今後のスケジュール

トクヤママレーシアPS-2(第2期)

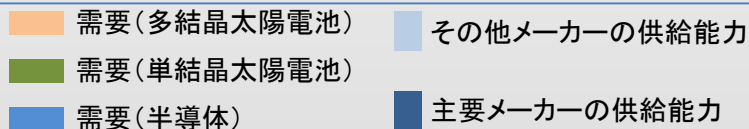
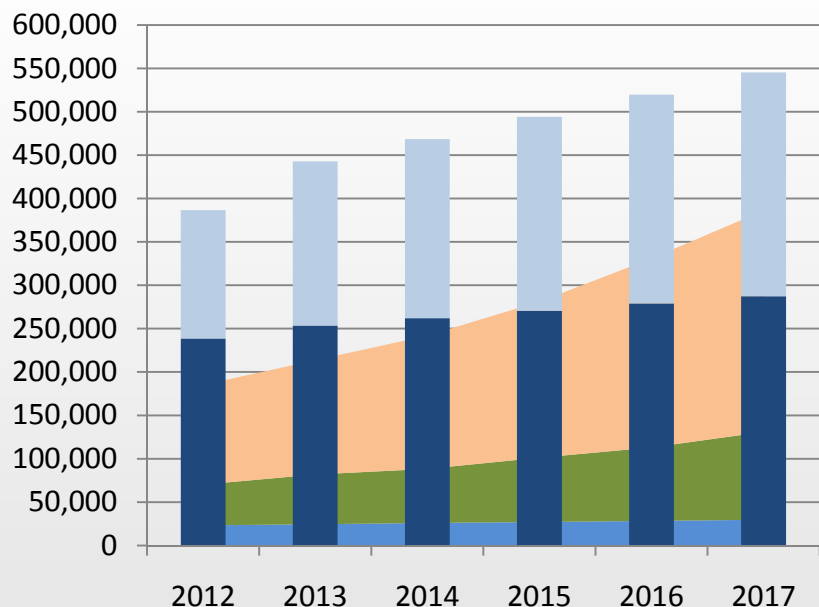
- ・工事は予定通り進捗し、2013年末に完成予定。
- ・2014年中頃の太陽電池向けグレード生産・販売開始を目指す。



2. 多結晶シリコン市場動向

多結晶シリコンの需要予測

供給能力／需要(トン)



(注1) 主要メーカーは、SolarbuzzのTier1メーカー

(注2) 需要は、iSuppli、Solarbuzzを基に、当社予測

今後の見通し

<半導体向け需要>

◆タブレット、スマートフォン向けの需要拡大で年率5%程度の増加が見込まれる

<太陽電池向け需要>

◆欧州では補助金削減により太陽電池導入量が大幅減となるものの、日本、中国、米国等で積極的な導入政策による成長が予想され、年率15%程度の需要拡大が見込まれる

◆中国アンチダンピング課税は最終決着していないが、現時点では多結晶シリコン市況への影響は限定的と見る

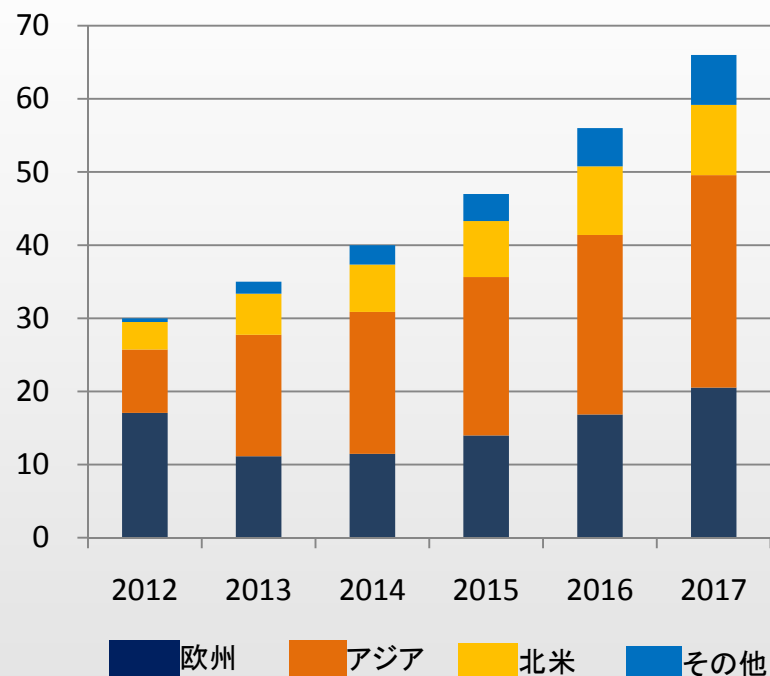
<供給サイド>

◆当面供給能力過剰の状況が続く。コスト競争力が生き残りのカギとなる

2. 多結晶シリコン市場動向

地域別太陽電池導入量予測

単位:GW



(注)IHS iSuppli Market Tracker (PV Integrated) Q3
2013 のデータを基に当社予測

各国の状況

<中国>

- ◆2015年までの累積導入目標を35GWに上方修正
- ◆太陽光発電産業の健全な成長の為の政策を発表

<日本>

- ◆東日本大震災による福島原発事故などにより、再生可能エネルギー活用の気運が高まる
- ◆2012年7月の現行固定価格買取制度の導入以降、導入量が急増

<米国>

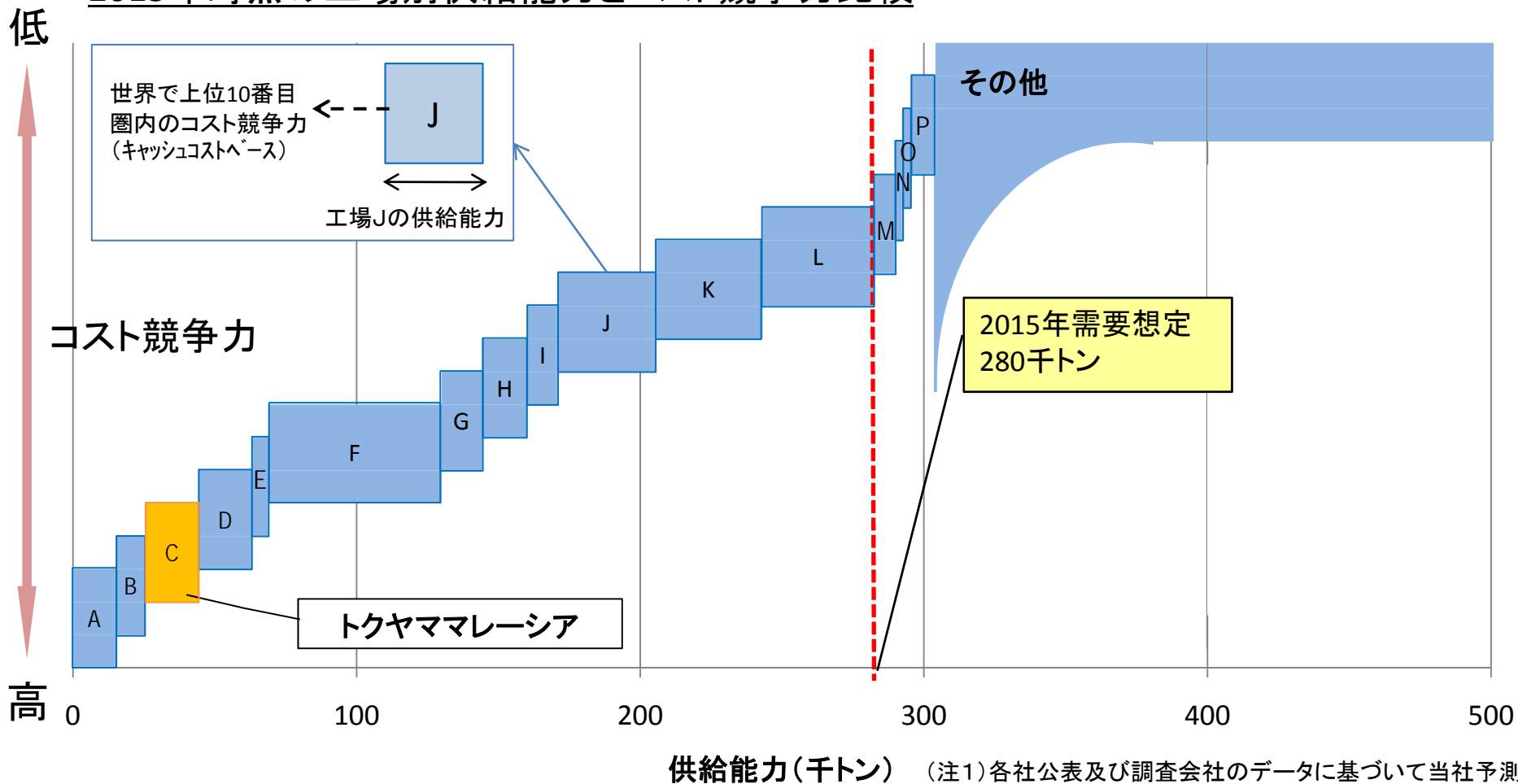
- ◆様々な太陽光発電の普及政策が存在し、市場拡大を後押ししている。特に、大規模太陽光発電市場では、州レベルでの政策が市場を牽引

<ドイツ>

- ◆太陽光発電システムの低価格化が進んだことで、系統電力より安価な電力供給源になりつつある。今後、自立成長に移行し、再度需要が拡大していくと期待される

3. 多結晶シリコン供給能力とコスト競争力

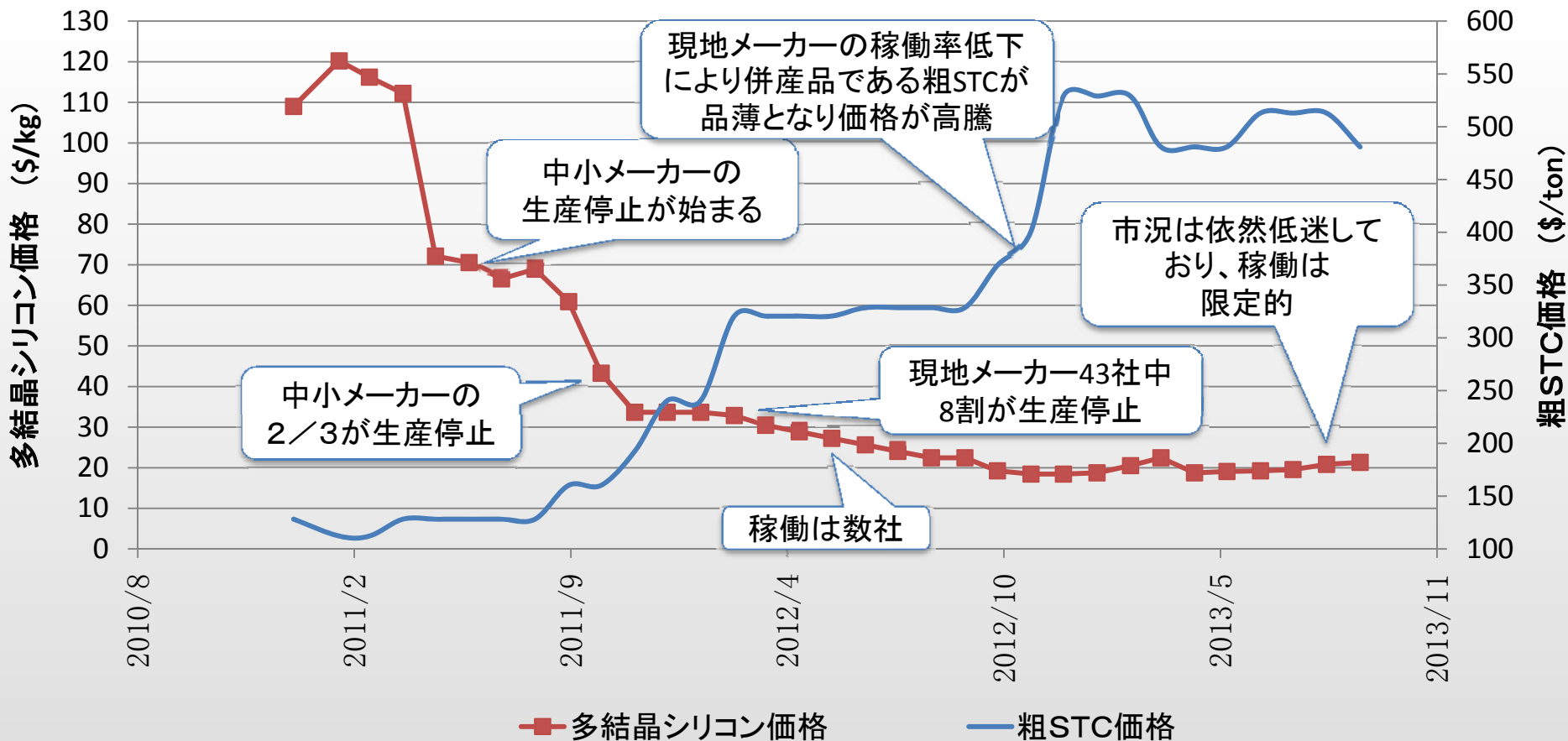
2015年時点の工場別供給能力とコスト競争力比較



(注1) 各社公表及び調査会社のデータに基づいて当社予測
(注2) コスト競争力は、キャッシュコストを序列化

4. 中国の多結晶シリコン市況と現地メーカー動向

多結晶シリコンと粗STCの中国国内価格の推移



(注) 調査会社のデータに基づいて当社作成

4 トピックス

1. 収益改善計画とローリング3カ年
2. ソーダ灰・塩化カルシウム
共同事業会社設立



4 トピックス

1. 収益改善計画とローリング3カ年

100周年ビジョン

人財の活力と化学の創造力で未来を拓く、
社会と共鳴するものづくり企業

基本戦略

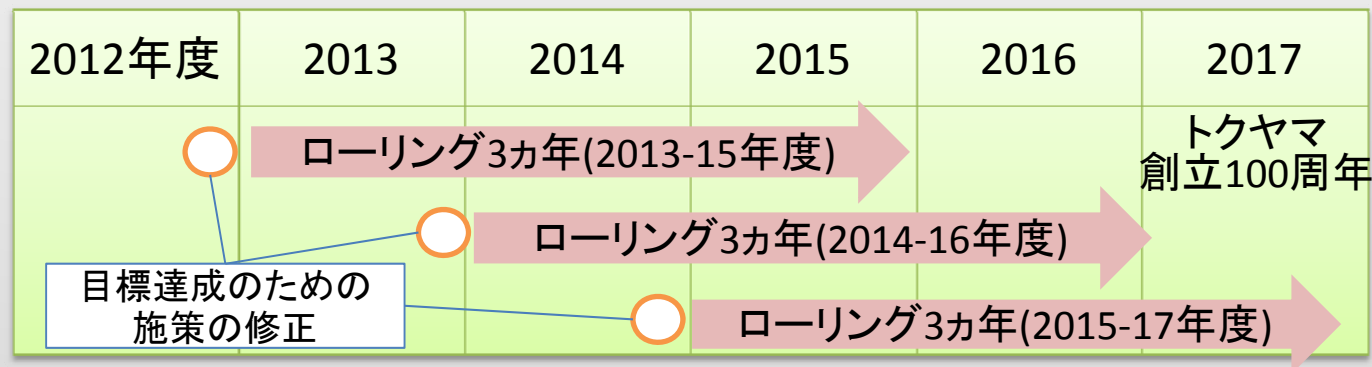
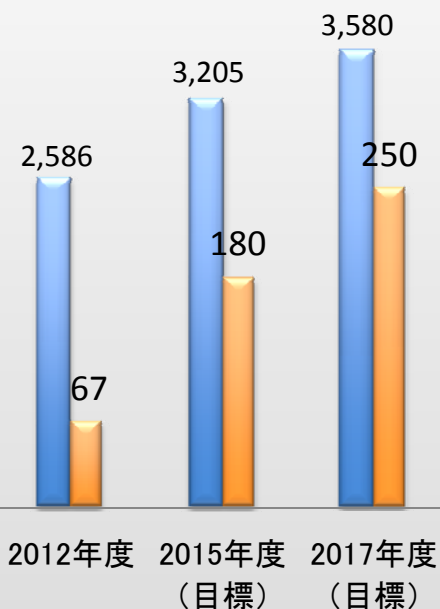
- ・国際競争力の強化
- ・戦略的成長事業の強化

収益改善計画
(2013年2月発表)

- ・多結晶シリコン事業の再構築
- ・その他事業の収益向上
- ・全社の収益改善(費用削減)

キーワード
「挑戦と変革」

■ 売上高 ■ 営業利益



4 トピックス

2. ソーダ灰・塩化カルシウム共同事業会社設立

- セントラル硝子(株)とソーダ灰・塩化カルシウムの販売について、共同事業会社を設立し販売事業を移管・集約することで合意。

<新会社の概要>

会社名：検討中

本社：東京都(予定)

代表者：トクヤマより選出(予定)

設立：2014年4月1日(予定)

業務開始：2014年10月1日(予定)

資本金：1,000万円

(出資／65%トクヤマ、35%セントラル硝子)

事業内容：ソーダ灰・塩化カルシウムの販売



当社ソーダ灰プラント



5 補足資料

1. 連結財務諸表(要約)
2. キャッシュ・フローの状況
3. 営業外損益の内訳
4. 特別損益の内訳
5. 主要指標
6. 業績推移
7. 主要原燃料価格推移
8. 設備投資額推移
9. 有利子負債残高推移
10. 主要グループ会社売上高

5 補足資料

1. 連結財務諸表(要約)

損益計算書

(億円)

	2013年 3月期 第2四半期 連結累計期間	2014年 3月期 第2四半期 連結累計期間	増減	
			金額	%
売上高	1,259	1,350	+90	+7
売上原価	948	982	+33	+4
販管費	303	289	△13	△4
営業利益	7	78	+70	+885
営業外損益	△27	△17	+10	-
経常損益	△19	60	+80	-
特別損益	△11	△3	+7	-
税前当期純損益	△31	57	+88	-
法人税等	△6	12	+18	-
四半期純損益	△25	45	+70	-

5 補足資料

1. 連結財務諸表(要約)

貸借対照表

(億円)

	2013年 3月末	2013年 9月末	増減	
			金額	%
資産合計	5,182	5,280	+97	+2
流動資産	1,861	1,576	△284	△15
有形固定資産	2,743	3,082	+339	+12
無形固定資産	79	108	+28	+36
投資その他の資産	498	512	+14	+3

	2013年 3月末	2013年 9月末	増減	
			金額	%
負債合計	2,943	2,986	+43	+1
流動負債	1,156	1,187	+31	+3
固定負債	1,787	1,799	+12	+1
純資産合計	2,238	2,293	+54	+2

⑤ 補足資料

2. キャッシュフローの状況 連 結

(億円)

	2013年 3月期 第2四半期 連結累計期間	2014年 3月期 第2四半期 連結累計期間
営業活動によるキャッシュ・フロー①	50	110
投資活動によるキャッシュ・フロー②	△291	△549
フリー・キャッシュ・フロー③(①+②)	△241	△439
財務活動によるキャッシュ・フロー④	393	211
現金及び現金同等物に係る換算差額⑤	△0	6
現金及び現金同等物の増減額⑥(③+④+⑤)	152	△221
現金及び現金同等物の期首残高⑦	584	524
連結の範囲変更に伴う増減額⑧	-	4
現金及び現金同等物の期末残高⑨(⑥+⑦+⑧)	736	307

5 補足資料

3. 営業外損益の内訳

連 結
(前年同期比)

(億円)

		13年3月期 第2四半期 累計期間	14年3月期 第2四半期 累計期間	差損益	備 考
営業外収益	受取利息・配当金	3	3	+0	
	その他	10	13	+2	為替差益 +3
	計	14	16	+2	
営業外費用	支払利息・社債利息	11	12	△1	
	その他	30	21	+9	為替差損 +10 休止部門費 △5 有価証券評価損 +2
	計	41	34	+7	
営業外損益		△27	△17	+10	

(注) 差損益の表示は、利益を+、損失を△としている

5 補足資料

4. 特別損益の内訳

連 結
(前年同期比)

(億円)

	13年3月期 第2四半期 累計期間	14年3月期 第2四半期 累計期間	差損益	備 考
特別利益	4	5	+1	投資有価証券売却益 +2
特別損失	16	9	+6	事業再構築引当金繰入 +8 固定資産売却損 +4 製品補償損失 △3 固定資産減損損失 △2
特別損益	△11	△3	+7	

(注) 差損益の表示は、利益を+、損失を△としている

5 補足資料

5. 主要指標①

(前年同期比)

(億円)

		2013年3月期 第2四半期累計		2014年3月期 第2四半期累計		増 減	
		連結	単体	連結	単体	連結	単体
設備投資額	億円	530	75	382	19	△148	△55
減価償却実施額	億円	114	91	81	55	△32	△35
研究開発費	億円	52	40	42	31	△9	△9
金融収支	億円	△7	+4	△9	+20	△1	+16

5 補足資料

5. 主要指標②

(前期末比)

(億円)

		2013年3月末		2013年9月末		増 減	
		連結	単体	連結	単体	連結	単体
有利子負債	億円	1,877	1,672	2,116	1,904	+239	+231
期末人員	人	5,651	2,122	5,722	2,084	+71	△38

5 補足資料

5. 主要指標③

(予想の前期比)

(億円)

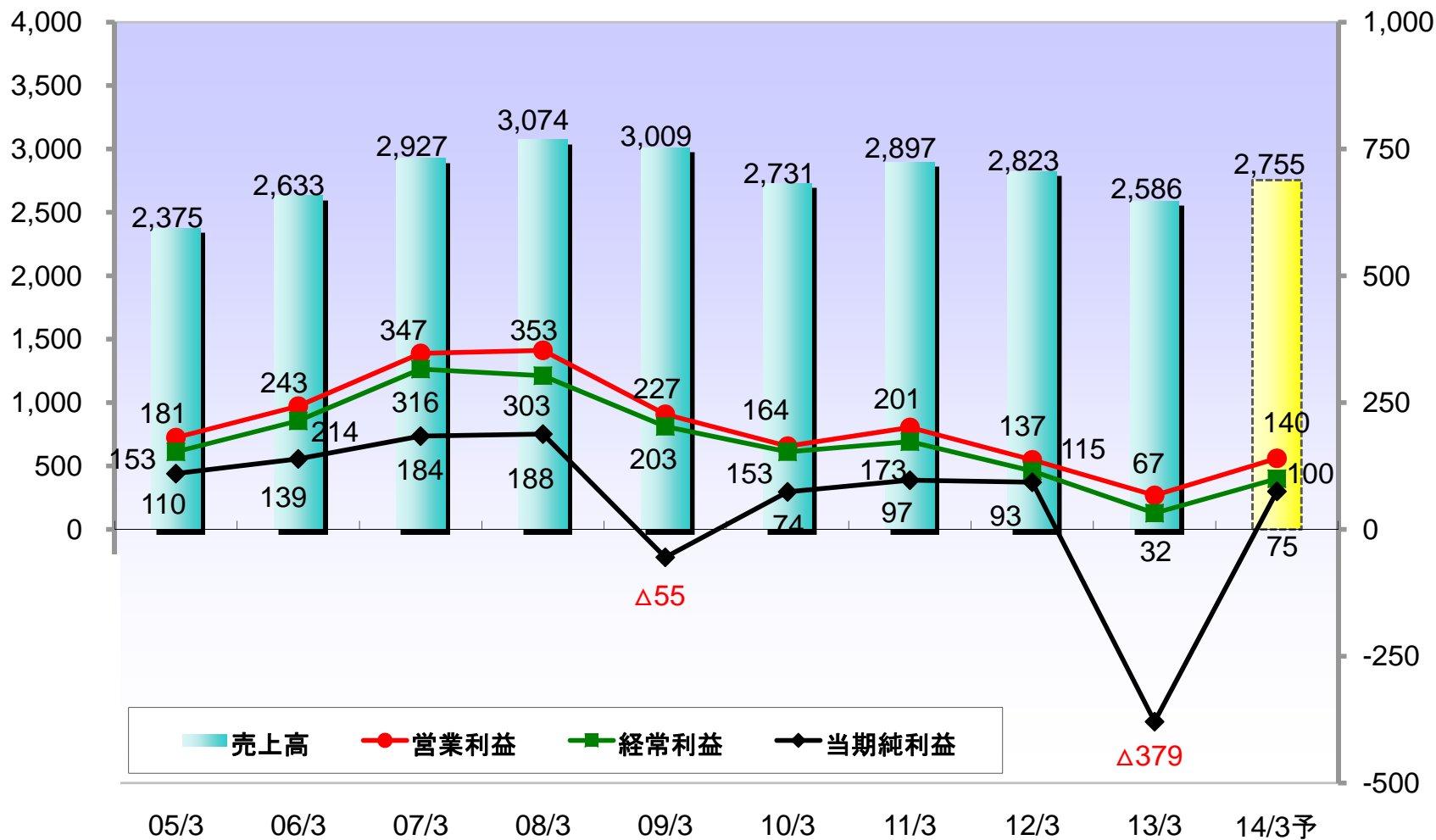
		2014年3月期 予想		2013年3月期 実績		増 減	
		連結	単体	連結	単体	連結	単体
設備投資額	認可枠合計	615	91	-	-	-	-
	見込(13年度) 実績(12年度)	555	70	975	159	△419	△88
減価償却費		169	116	232	184	△63	△68
研究開発費		92	69	100	77	△7	△7

5 補足資料

6. 業績推移 (通 期)

売上高(億円)

利益(億円)

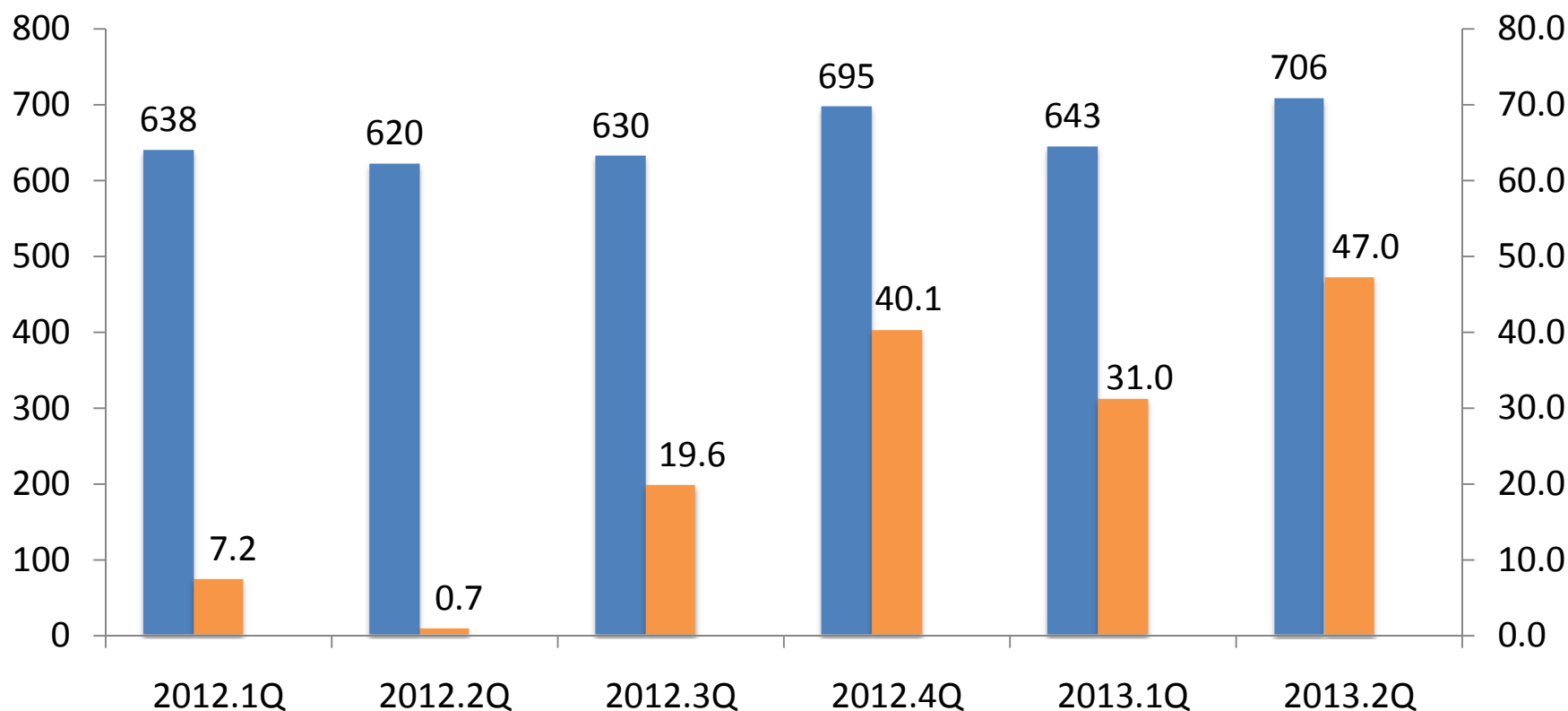


5 補足資料

6. 業績推移 (四 半 期)

連結

■ 売上高(左軸) ■ 営業利益(右軸) (億円)

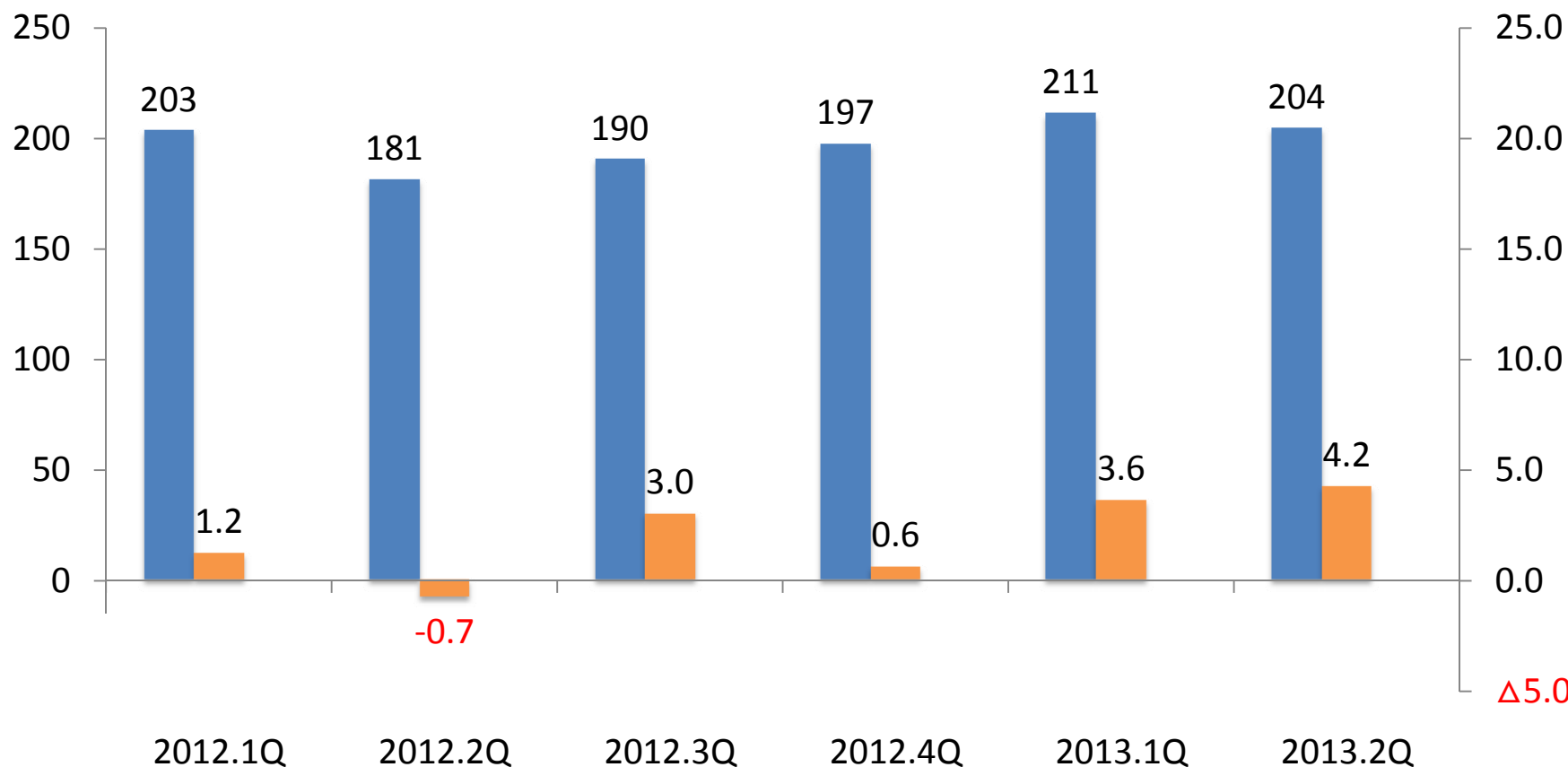


5 補足資料

6. 業績推移 (四 半 期)

化成品

■ 売上高(左軸) ■ 営業利益(右軸) (億円)



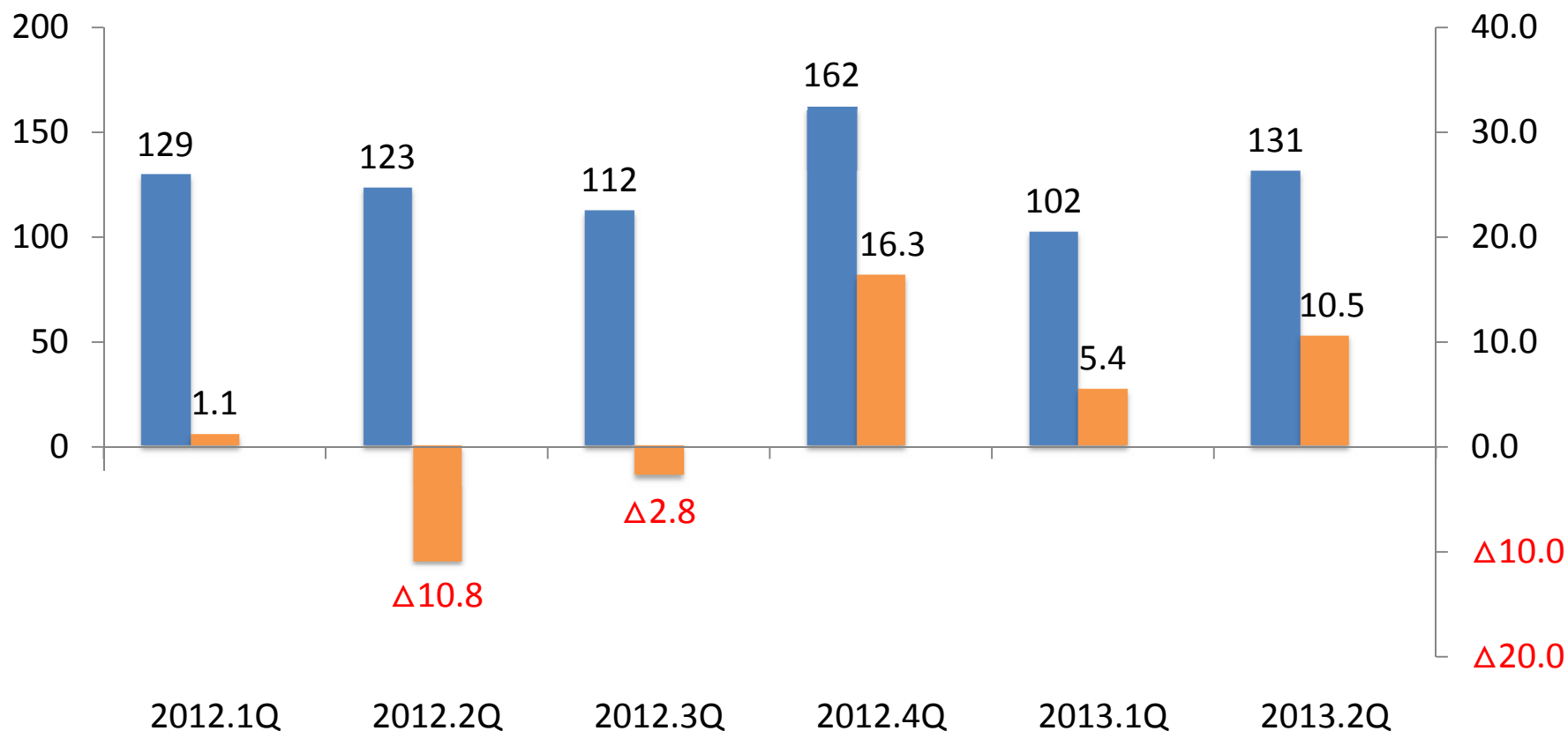
(注) 各事業セグメントの売上高・営業利益にはセグメント間取引を含む

5 補足資料

6. 業績推移 (四 半 期)

特殊品

■ 売上高(左軸) ■ 営業利益(右軸) (億円)



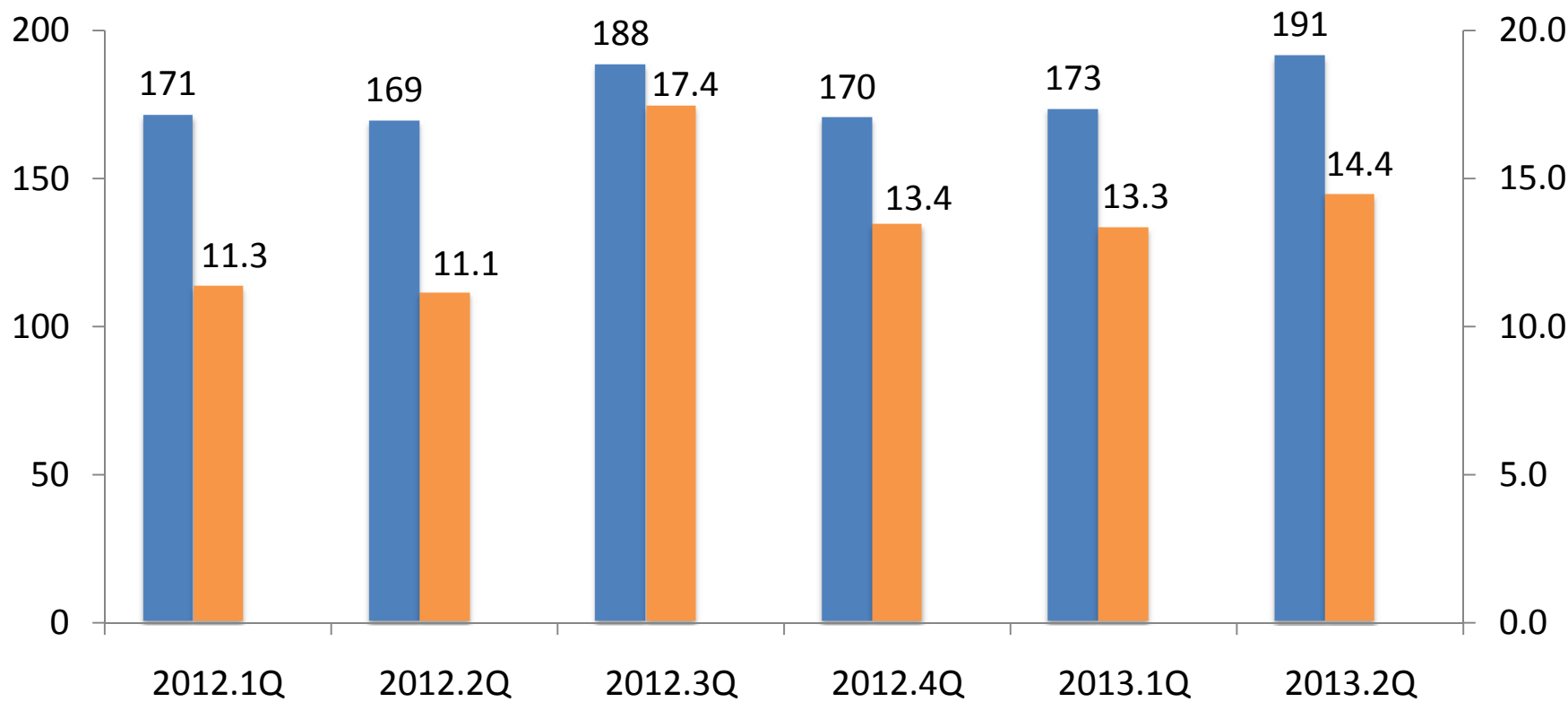
(注) 各事業セグメントの売上高・営業利益にはセグメント間取引を含む

5 補足資料

6. 業績推移 (四 半 期)

セメント

■ 売上高(左軸) ■ 営業利益(右軸) (億円)



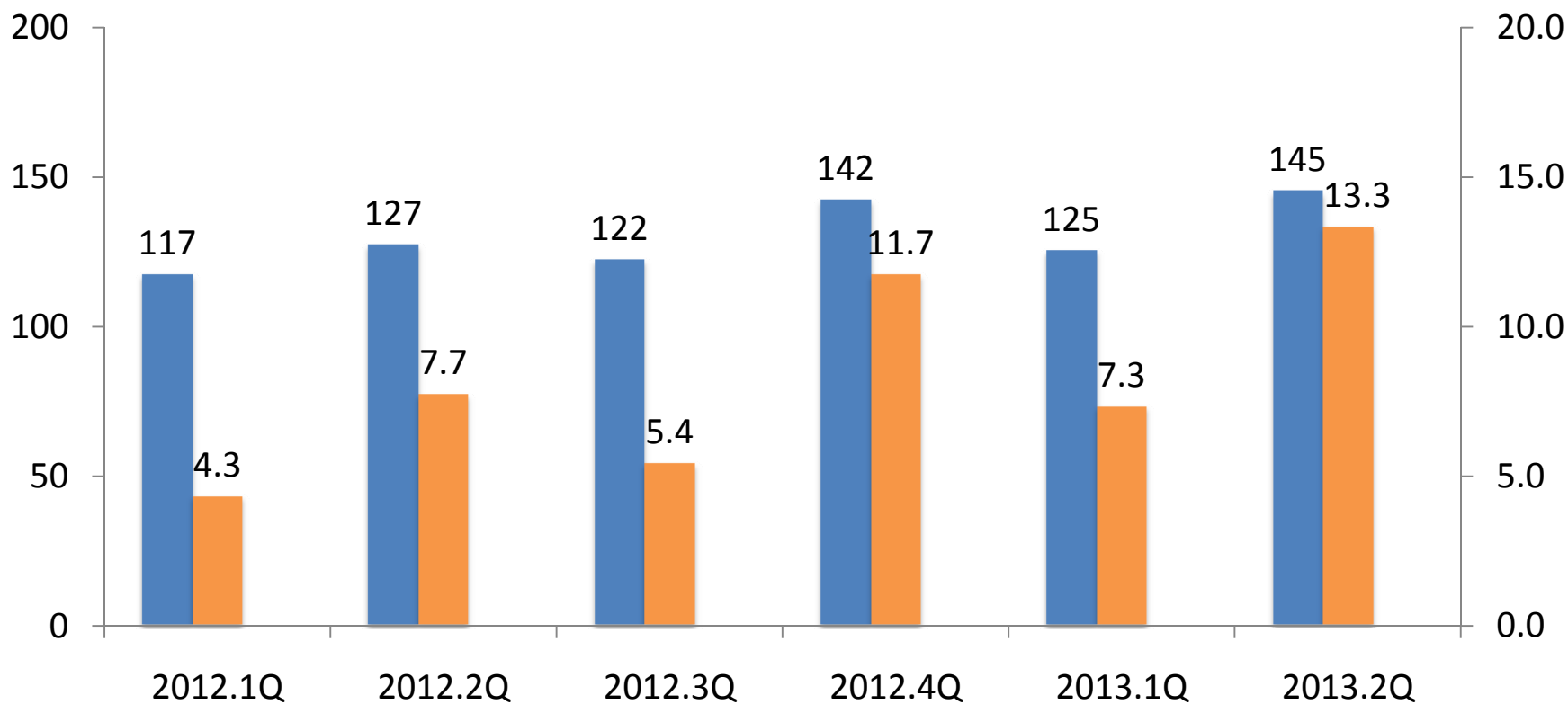
(注) 各事業セグメントの売上高・営業利益にはセグメント間取引を含む

5 補足資料

6. 業績推移 (四 半 期)

ライフアメニティー

■ 売上高(左軸) ■ 営業利益(右軸) (億円)



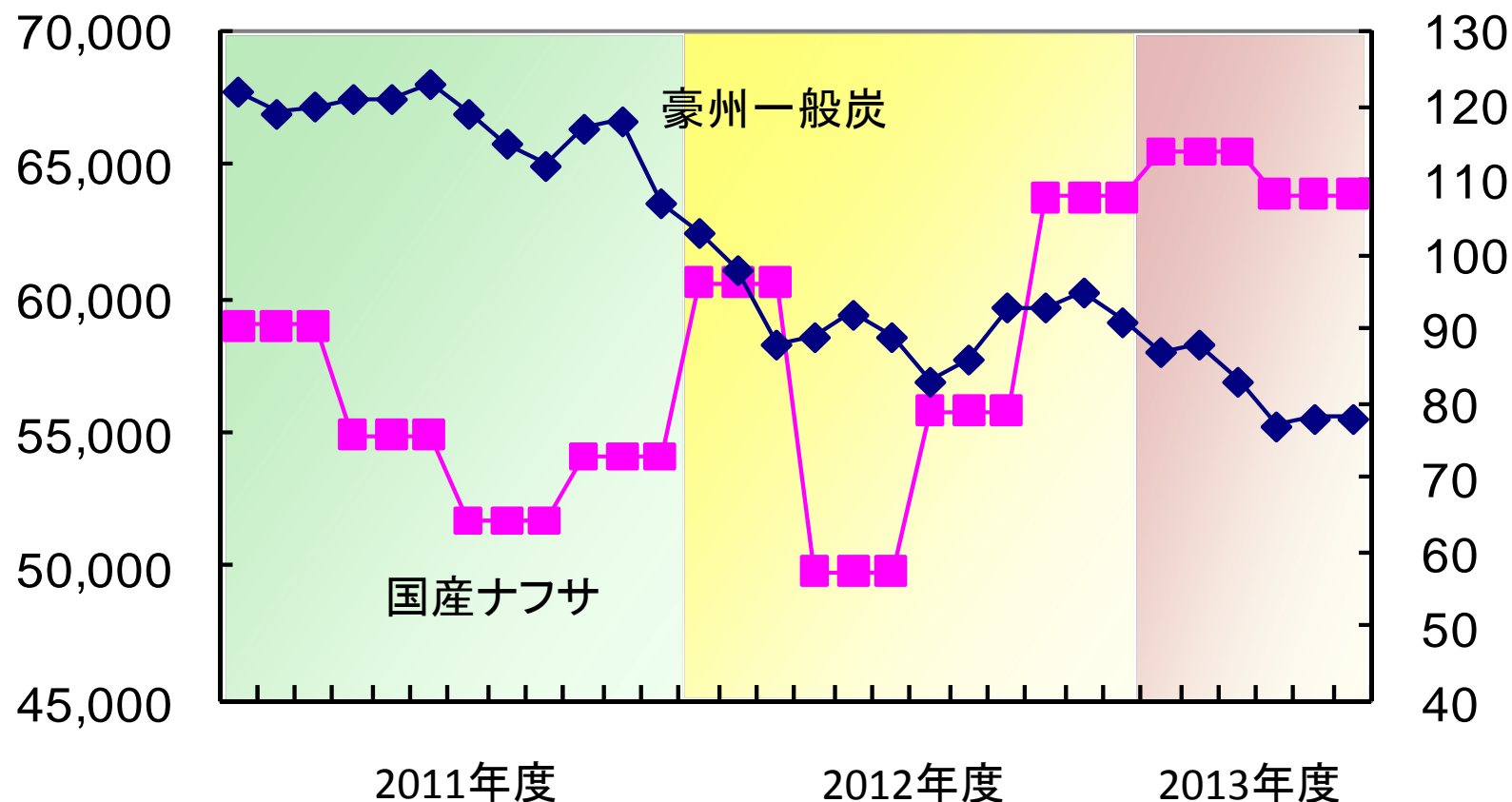
(注) 各事業セグメントの売上高・営業利益にはセグメント間取引を含む

5 補足資料

7. 主要原燃料価格推移

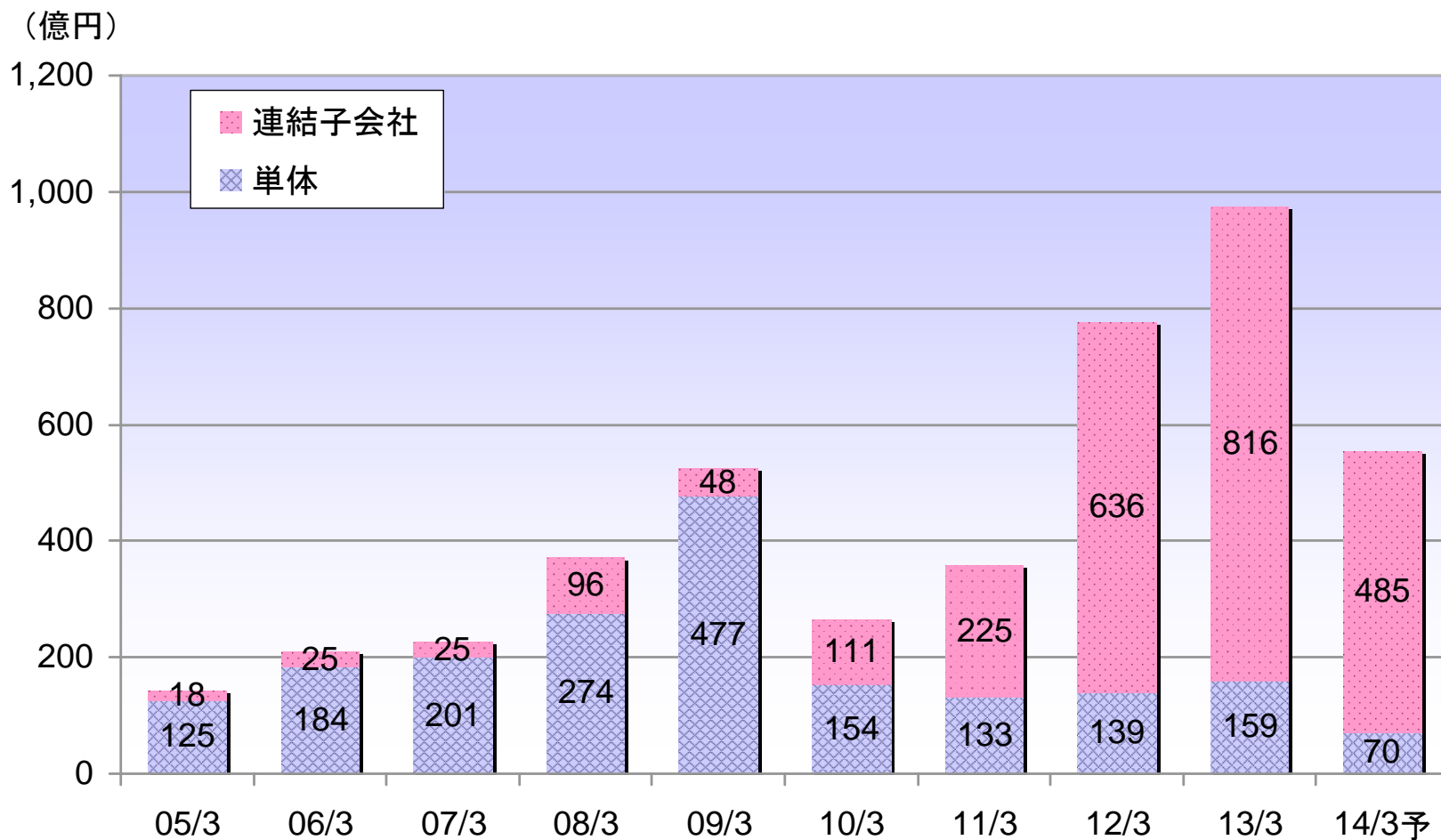
国産ナフサ価格
(円/kl)

豪州一般炭スポット価格
(\$/トン)



5 補足資料

8. 設備投資額推移

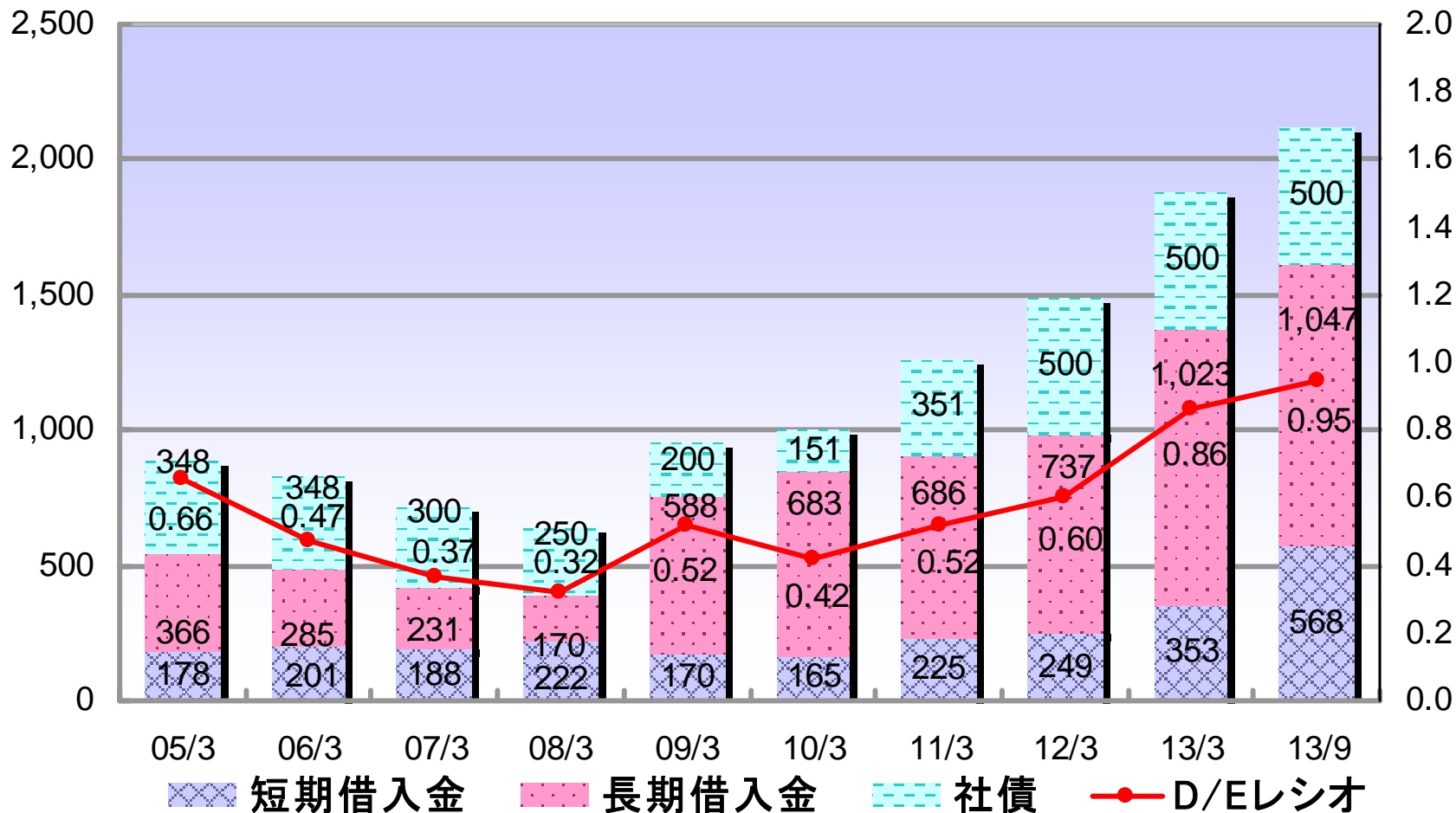


5 補足資料

9. 有利子負債残高推移

(有利子負債:億円)

(D/Eレシオ)



5 補足資料

10. 主要グループ会社売上高

	会社名	事業内容	資本金 (百万円)	出資比率 (%)	売上高 (百万円)	
					12年9月期	13年9月期
①	トクヤマ通商(株)	セメント・生コンクリート、各種建設資材の販売	95	100	10,235	11,688
②	新第一塩ビ(株)	塩化ビニル樹脂の製造販売	2,000	71	9,765	10,429
③	サン・トックス(株)	プラスチックフィルムの製造販売	1,600	100	8,264	8,768
④	関西トクヤマ販売(株)	生コンクリート、各種建設資材の販売	80	100	4,634	5,218
⑤	(株)トクショウ	生コンクリート、各種建設資材の販売	40	100	4,635	4,782
⑥	(株)エイアンドティー(12月決算)	臨床診断分析機器、試薬及び関連システムの販売	578	40	4,187	4,378
⑦	(株)エクセルシャノン	プラスチックサッシの製造販売	495	100	3,108	3,912
⑧	フィガロ技研(株)	ガスセンサ素子及び応用製品の製造販売	99	100	2,345	2,335
⑨	徳山化工(浙江)(有) (12月決算)	乾式シリカ、TCS、STCの製造販売	351.2 百万元	100	1,559	2,090

本資料に関するご注意

本資料は情報提供を目的とするものであり、何らかの勧誘を目的とするものではありません。

本資料は現時点で入手可能な情報に基づき作成したものでありますが、不確実性を含んでおり、当社はその正確性・完全性に関する責任を負いません。

本資料に記載されている見通しや目標数値等に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じるいかなる損失に対しても、当社は責任を負いません。

Chemistry with a heart

TOKUYAMA

